

科目名	整形外科学			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期 2年 前期
【授業の目的・ねらい】 整形外科学の基本的知識を学ぶ。							
【実務者経験】							
【授業全体の内容の概要】 教科書に準拠して行います。履修上の注意として、基礎となる最低限の解剖生理学や運動学は復習しておくこと。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 現場で必要とされる知識を最低限身につけます。（解剖学、生理学、運動学との関連づけ） また、国家試験で必要とされる知識についても担当教員より補足説明を行います。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	リエンテーション、整形外科診断学概論（p 73-150）						
2	整形外科治療学概論（p 151-205）						
3	外傷学総論（p 680-723）						
4	骨折各論（上肢）（p 723-745）						
5	骨折各論（下肢、小児）（p 745-788）						
6	脊髄損傷（p 789-809）						
7	関節リウマチ（p 229-253）						
8	変形性関節症、通風、骨粗鬆症（およびくる病、骨軟化症）（p 253-267、315-331）						
9	末梢神経損傷（p 810-830）						
10	骨端症、骨腫瘍（p 268-275、331-361）						
11	上肢に多い疾患（p 402-470）						
12	下肢に多い疾患（p 556-676）						
13	脊柱に多い疾患（p 470-556）						
14	乳癌（別資料配布）						
15	熱傷（別資料配布）、まとめ						
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 標準整形外科学（医学書院）							
【準備学習・時間外学習】 1年次に修得した解剖生理学Ⅰ（運動器系）の復習を事前に行っておくこと。また、講義終了後は重要なポイントなどを表や図などを使用してまとめておくこと							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は小テストを40点、課題を20点、定期筆記試験を40点とし合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							